

★信州大学と米国・カリフォルニア大学デイヴィス校が大学間学術交流協定を新規締結

信州大学は、平成30年11月6日（火）信州大学松本キャンパスにおいて、米国・カリフォルニア大学デイヴィス校と大学間学術交流協定を新規締結しました。

医学部生理学教室沢村達也教授（次世代医療研究センター兼任）の招聘で来学したカリフォルニア大学デイヴィス校ラルフ・グリーン特別教授よりカリフォルニア大学ジョアナ・レグルスカ副総長（国際交流担当）の署名がされた協定書を田中清副学長（国際交流担当）が拝受ならびに署名、11月6日付で発効致しました。

本協定に基づき両大学医学部間で学生交流協定が結ばれる予定です。

詳しくはこちら↓↓↓

<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/medicine/topics/2018/11/16127264.php>

★信州大学とイタリア・トリエステ大学が大学間学術交流協定を新規締結

信州大学は研究及び教育で名高いトリエステ大学（UniTS）と2018年12月3日に学術交流協定を締結しました。田中榮司医学部長含む信州大学代表団が、濱田州博信州大学長により事前に署名された協定書とともにトリエステ大学で開催された調印式へ出席し、Maurizio Fermegliaトリエステ大学長が大学間協定書へ、また、トリエステ大学生命科学部並びに医学部及び信州大学医学部それぞれの学部長が学部間研究交流及び学生交流合意書へ署名し、更なる発展へ向けて相互に協力していくことを約束しました。

今回の締結は、信州大学医学部及びバイオメディカル研究所組織発生学の佐々木克典教授とトリエステ大学生命科学部Gabriele Stocco教授との研究交流に端を発し、その後、両研究室間での学生交流を経て両大学医学部間への交流に繋がりました。田中清信州大学副学長（国際交流担当）・グローバル教育推進センター長及びJose Francisco Medinaトリエステ大学副学長が学生交流合意書へ署名したことにより、研究及び学生交流がより活発になる予定です。

詳しくはこちら↓↓↓

<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/medicine/topics/2018/12/19128027.php>



□ 信大NOW No. 113/No. 114 のご案内

信州大学のニュース、歴史や人にまつわる記事、イベントや公開講座の紹介、研究者の研究内容など、信州大学が良くわかる広報誌「信大NOW」最新号の目次を紹介いたします。

<No. 113>

○平成29年度 環境教育海外研修報告
2045年までに
再生可能エネルギーを100%に一
ハワイで考え、
学ぶ「環境問題」。

○繊維学部学生による「ハナサカ軍手プロジェクト」
継続は力なり！
ハナサカ軍手
10年の軌跡。

○信大発ベンチャー企業 Series. 4
特定非営利活動法人SCOPE
地域の課題を
100年先のエネルギーに
変えるシンクタンク。

○おかげさまで放送公開講座は20周年を迎えました！
信州大学放送公開講座2018

○TOPICS

- ・ 文部科学省高等教育局国立大学法人支援課佐野企画官らによる産学連携施設視察
- ・ 地域の代表の皆様との懇談会を開催
- ・ フランスリール大学サテライトオフィスin信州大学設置
- ・ 信州大学 長野県高森町との包括的連携協定を締結
- ・ 信州大学工学部建築学科 学生チームが、学生設計コンペティション “The 10th IUICEC”において “Excellent Architectural Design Award” を受賞

- 先端繊維技術が世界を紡ぐ
「疾走するファイバー展」 リニューアル
-

<No. 114>

○信州大学×TOCLAS

水を安全に変える、
信大クリスタルが
変える。2018.10.24 in Tokyo
水を安全に変える、世界初の新素材を用いた
携帯型浄水ボトルNaTio（ナティオ）発表

○信大発ベンチャー企業 Series. 5

株式会社スキノス
信大発特許
「換気カプセル型発汗計」で
世界に挑む。

○産学連携による人材育成

「車いすで、山遊あそび。」
平成30年度 観光庁「産学連携による観光産業の中核人材育成・強化事業」採択
「ユニバーサルフィールド・コンシェルジュ養成口座」開講式&第1回講座

○安曇野のリンゴ農家と信大、さらに京都大学を結ぶ信大生

30年続く農家ボランティアサークル
「りんご部隊」のリンゴ愛。

○信州大学創立70周年・旧制松本高等学校100周年記念事業イベント

校歌としての「信濃の国」

○信州大学広報スタッフ会議 学外広告アドバイザー

FOCUS EYE Vol. ⑧ 谷 浩志 氏

○TOPICS

- ・ 長野県警察等とのサイバーセキュリティ協定
- ・ 信州大学と上越教育大学が連携協定を締結

○信州大学と信州メディカル産業振興会が開発支援した

心肺蘇生音声誘導器
「レスキューガイド」製品化！（日本AED財団監修製品）

全文は信州大学の公式Webサイト上でデジタルパンフレットとして
公開されていますので、ぜひご覧ください。

↓ ↓ ↓
<http://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/publication/#publication>



□ スタッフ近況報告 GEO副センター長 佐藤 友則先生

佐藤友則です。このニュースレターを読んでいる人の中には幸い、私を知ってくれている人も多いかもしれませんね。今年6月で信大勤務20年になります。この20年の間、ひたすら「留学畑」で活動してきたので、知っている皆さんも多いです。

1999年に働き始めた時に1年生だった中国の男子同窓生に昨年7月に大阪で会いまし

た。彼は世界的な電気機器メーカーで非常に重要な職務を担当し、自信がみなぎっていました。大阪の夜景が見える素晴らしい展望イタリアンで豪勢な食事をご馳走になり、「彼が3年生のころ、無保険で車の事故を起こして大変な目に遭った時になぐさめたりしたのは、この時のためだったのか」としみじみ思いました。

思えばこの20年の間、私の職場は名前が何度か変わりました。留学生センター(1999~2005 初代・内藤センター長)、国際交流センター(2006~2014 初代・野村センター長)、グローバル教育推進センター(2015~現在 田中センター長)の3つです。その都度、仕事内容が広がり、留学生の皆さんとの接し方も少しずつ変わってきました。留学生センターの頃は交換留学生が少ししかおらず、正規留学生との付き合いがメインでした。あの頃は余裕があったなと思います。国際交流センターでは交換留学プログラムが始まり、多くの交換留学生や短プロ生、日研生を受け入れるようになりました。また、日本人学生の海外派遣もするようになり、彼らとの付き合いも始まりました。グローバル教育推進センターでは「留学生就職促進プログラム」を始めることになり、正規留学生の就職に深く関わるようになりました。また「特別選抜留学生プログラム」という海外の高校生等を育てて信大に入学させるプログラムも始まりました。仕事も増え、身体もキツくなってきましたよ。

ただ、就職した、合格した、奨学金に受かった、留学がよかったという現役の皆さんからの報告と嬉しそうなお顔。結婚した、二人目の子供ができた、転職してやりたい仕事ができるようになったという同窓生の報告と誇らしげなお顔 (Facebookなどでチェック) ほど、「この仕事をやってよかった」と思わせてくれるものはありません。それは20年、一貫して変わりませんね。今年も11月23日(土)に長野市のホテルで「国際交流会」という大きな同窓イベントをするので、ぜひ顔を見せて報告をしてください。

また、私は信大の仕事と並行して「外国由来の人たち (日本にいる皆さん達ふくめ) と日本社会を一緒に作っていく: 多文化共生」のNPO法人を立ち上げて活動をしています。CTN(中信多文化共生ネットワーク)といいます。昨年3月で発足10年、その前には「優れた活動を県内で継続している」ということで長野県知事表彰も受けました。2018年12月に日本中で大議論となった外国人労働者の本格受入が今年4月から始まるので、CTNの仕事はさらに重要になっていきそうです。身体をこわさない範囲で頑張ります。

皆さんも、世間でいう「活躍」などじゃなくても、「自分の人生の主人公」として生きていてください。また会いましょう。

■ □

□ 生活ちょっとコラム ~温度で色が変わるおもちゃ~

初めのごあいさつで氷のお祭りの話をしましたが、私は冬にも関わらず氷を毎日使っています。

なぜかという、息子がお風呂で遊ぶおもちゃに氷を使うからです。息子は新幹線が大好きです。お風呂で遊ぶおもちゃも、新幹線のものがあります。その新幹線は、いつもは黄色で「ドクターイエロー」という新幹線ですが、お風呂のお湯につけると色が変化し白色の「のぞみ」になります。のぞみをドクターイエローに戻すためには冷やさなければならぬため、氷水を用意しているのです。

このおもちゃは、某文具メーカーから発売されていて、その文具メーカーさんといえば、みなさんもご存知の「こすと消えるボールペン」です。こすと消えるボールペンも、こすった時の摩擦熱でインクが透明になり消えるというものですから、きっとこの技術を応用したのでしょうね。

そんな技術の応用のおかげで、お風呂嫌いだった息子は毎日楽しくお風呂に入るようになりました。(ありがとうございます！)

●○○●○○●修了者データベース登録のお願い○○●○○●○○●○○●○○●

グローバル教育推進センターでは、留学生の帰国後のフォローアップの一環として、データベースの作成と活用をすすめています。まだこのフォームを提出されたことのない方は、ぜひ記入にご協力下さい。

このニュースレターの配信先メールアドレス変更もこちらからお願いします。

<http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/gec/cheer/inbound/alumni/graduates-database/>

●○○●

◆配信元：信州大学グローバル教育推進センター(GEC) 文責：田中

〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1

Tel: 0263-37-3360 / Fax: 0263-37-2181

<http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/gec/>

◆連絡先：iad@shinshu-u.ac.jp

*各種お問い合わせ

*配信停止希望

- *メールアドレスの変更のご連絡
 - *情報掲載のご希望
 - *ご意見、ご感想
- など